

【地方自治体表彰（総務大臣表彰）】群馬県みなかみ町 評価のポイント

概要

山林や里山が全体的に荒廃しつつある中、より多くの方々が森林や林業に関わりを持ち、森林資源の有効活用を促進することで環境を保全するため、山林所有者や地域住民が主体的に継続して携わることができる「自伐型林業」を推進し、多様な人材を巻き込んだ担い手の育成に取り組んでいる。また、搬出された木材を木育やエネルギー、用材として有効活用するなど、持続可能な地域づくりを推進している。



【自伐型林業研修会】

評価された点

- ・ 自伐型林業推進の好事例。国産材家具メーカーとの連携による、広葉樹の製品化や「みなかみユネスコエコパーク」を活用したブランド化、東京おもちゃ美術館などと連携した木育キャラバンなど活動の範囲が多岐に渡っている
- ・ 本事業によって、多くの地域住民が森林資源の有効活用、環境保全の大切さに気付き、自ら主体的に関わり始め、活動の幅が広がりつつある。地域課題の解決を地域活性化につなげることに成功しており、今後のさらなる発展が期待される。
- ・ 林業を産業分野としてだけの視点でなく、地域づくりとして、住民と一体に活動をしている点を評価したい。基本となる林業の再生の視点はもちろんのこと、環境を理解してもらい、未来の担い手づくり等への努力を続けておられます。林業とは私達の暮らしを支える基幹産業であり、生命を守るため、継続性が高く住民一体となって取り組むべきテーマであると思われまます。
- ・ 森林資源の活用に積極的に取り組んでいる点と多様な人材を巻き込んだ担い手の育成に成果を上げている。



【環境教育の推進】



【地域材で木育を推進】